

令和元年 6 月 10 日

市政記者各位

福岡市美術館

G20 福岡をまとめた奇跡の金屏風！特別公開！

6月8日（土）、G20 福岡財務大臣・中央銀行総裁会議の国主催「夕食会」が、福岡市美術館において開催されました。夕食会では、参加国の財務大臣や中央銀行総裁、国際機関の長などが、市が所蔵する美術品を展示した部屋で、福岡・九州の食をご堪能されました。

展示した美術品は、福岡市美術館でも有数の金屏風で、会議関係者から、縁起のいい金屏風の前で和やかな夕食会となったことで、参加国の利害が交錯し、とりまとめが難しい国際会議であるにもかかわらず、G20 福岡の会議が円満にまとまったとご評価いただきました。

このたび、その夕食会に展示した美術品の一つである^{まるやまおうきよ}円山応挙による金屏風「^{たけつる}竹鶴・^{わかまつ}若松図屏風」（別紙）を市民の皆さまに特別公開することにいたしました。通常限られた期間しか公開していない美術品であり、この貴重な機会に、その奇跡の金屏風をぜひご観覧いただきますようご案内申し上げます。

記

期 間：2019年6月18日（火）～7月15日（祝・月）

9:30～17:30 ※7月の金・土曜日は20:00まで（入館は閉館の30分前まで）

場 所：福岡市美術館コレクション展示室 A（2階）

観覧料：一般 200 円（150 円）、高大生 150 円（100 円）、小中生 無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

【夕食会の様子】



【問い合わせ先】

- ◇美術品、特別公開について：
経済観光文化局 美術館運営部 学芸課
（担当：岩永）092-714-6053
- ◇G20 福岡 夕食会について：
総務企画局
G20 福岡財務大臣・中央銀行総裁会議担当
（担当：上原）092-711-4192

(別紙)

たけつる わかまつ
竹鶴・若松図屏風 六曲一双
まるやまおうきよ
円山応挙(1733-1795)

江戸時代 安永元(1772)年

紙本金地着色 屏風装

(各隻)153.5×357.8cm



向かって左隻



向かって右隻

【作品解説】

円山応挙は、江戸時代の絵師。写生による絵画を大成した。絵具を盛り上げ緻密に描かれた鶴の羽は、あたかも本物の羽であるかのように感じさせ、鶴や竹、松が奥行きを持って見える。伝統的なめでたい画題にも写生をとり入れ、人々を驚かせるような新鮮な視覚体験を実現した。